



麻里布小だより

10月

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>

令和8年10月号

地域の方とたくさん学びました

猛暑の夏がようやく過ぎ去り、過ごしやすいい日が増えてきました。この時期は教室を離れて地域で学んだり、授業の中に地域の方が入って話をしたりするなど、活動を支援して下さる機会がとて多くなります。生き方を考えたり、大切にすべき事を教わったりできるありがたい関わりです。そのいくつかを紹介します。

「やり方一つじゃない」～福祉学習～

3年生の福祉学習では、耳や手が不自由な方がどのように自分らしく生きていられるかという話をお聞きしました。片手が使えなくても、方法を工夫し、努力を積み重ねていろいろな楽器が吹けたり、耳が聞こえなくても手話やジェスチャーで積極的に発信し、高いコミュニケーション能力を発揮しておられたりする姿は、強い印象とともに「やり方一つじゃない」ことを教えていただきました。



「素敵な施設で実験したよ」～科学センター～

4年生が、新しい科学センターで理科の学習を行いました。天体の動きとプラネタリウム鑑賞、モーターと電池を使った電気の実験の2講座を体験しました。充実した材料と設備を使い、学校での学習内容の確認や、実践的な体験によって学びを深めることにつながりました。

後半は常設展示に触れる機会もあり、「また来たい」という声があふれていました。



「仲間との信頼を大切に」

～AFPY講座～

5年生が自然教室の事前学習としてAFPY（人間関係づくり講座）を体験しました。仲間と関わり合いながら課題に挑戦し、豊かな人間関係を築くための考え方や行動の在り方を学び合います。

来月は6年生でも実施されます。お楽しみに。



「おかげさまで完成しました」

～ミシンボランティアさん～

6年生の家庭科の授業に、たくさんの地域の方が来て下さいました。のべ41人の方が入ってくださり、ミシンの使い方を丁寧に教えて下さりながら、ナップサックの製作を行いました。

おかげさまで、あきらめずに一人ひとりが作品を仕上げる事ができ、修学旅行で使えます。ありがとうございました。



「デジタル時代を生きる子どもたちのために」

シリーズ～どうする・どうしてる？こどものケイタイ～

これまで3回にわたり「携帯電話を持たせるタイミング」「ネットいじめの深刻さ」「『わが家のルール』の大切さ」について考えてきました（詳しくは5～7月号を御覧ください）。

携帯やスマホは、子どもたちの世界を広げる便利な道具である一方、一歩間違えば重大なトラブルにつながるリスクも秘めています。大切なのは、ただ禁止したり遠ざけたりするだけでなく、正しく安全に使いこなす「道具の扱い方」を、大人が根気強く教えていくことです。

ルールは1度作って終わりではありません。子どもの成長やスマートフォンの利用状況に合わせて、親子で対話を重ねながらアップデートしていく必要があります。

デジタル社会を生き抜く子どもたちが、便利さを味方につけて賢く歩んでいけるよう、見守り続けていきましょう。

4回にわたる連載をお読みいただき、ありがとうございました。

